

没後 100 年カフカ文学の 現代的意義

講師：川島 隆(京都大学教授)

チェコ文学の代表 フランツ・カフカが亡くなってから一〇〇年。カフカ文学は今なお新訳が出版され、演劇として上演される等、注目されている。彼の小説の不可解な存在感や魅力は私達を彼の文学の心の深みへと誘う。NHK「一〇〇分〇〇名著」の解説者でもある川島隆・京都大学教授が、多くの現代人が抱えるジレンマや、非合理性等とカフカ文学の謎を、わかり易く読み解く貴重な講演です。是非、ご参加ください。

二〇二四年十一月十一日(月)十四時開演

(十三時三十分開場) 七十五名様(申込先着順)

会場・チェコ共和国大使館(渋谷区広尾二一六六一四)



カフカのレリーフ

講師：川島 隆 略歴
京都府長岡京市に生まれ、奈良県奈良市で育つ。京都大学でドイツ文学を学ぶ。現在、京都大学教授。主な著書に『カフカの〈中国〉と同時代言説』(彩流社)、主な訳書にフランツ・カフカ『変身』(角川文庫)など。



カフカが執筆した家

後援：チェコ共和国大使館・チェコセンター東京



・(株)新評論

参加費：一般 3,000 円、会員 2,700 円、学生 1,000 円、高校生以下無料。

お問い合わせ：NPO 法人 チェコ倶楽部 (TEL：090-7718-5134)

e-mail: ceskyklub.event@gmail.com (TEL：090-6185-3483)

⇒お申し込みは
QRコードで
受け付けます



Google フォーム
(銀行振込)



Peatix (クレジットカード/
コンビニ/Paypal)